

ふ な ほ



船穂小学校 HP



印西市立船穂小学校

変化する時代を見すえ たくましく生きる 心豊かな児童の育成

< 校長室から >

校長 こじま 小島 みのる 実

船穂小学校の校歌

もりはまもるぞ
しずもりしげりて
われらの学校
われら子どもを
日本をきざす
土台石となる
われらによき
力をうえる

明治6年本校は、船尾の地に産声をあげました。開校してからしばらくして、水野葉舟作詞、鈴木竹松作曲による校歌ができたようですが詳しい年月は、定かではありません。この校歌には「子ども達に日本の未来を切り拓いていける強い生き方をしてほしい」という願いが込められています。私も大好きな、すてきな校歌です。

さて、保護者の皆様は、ご自身の小学校の校歌を覚えていますか。在学中はもとより、卒業してからもかけがえのないものとして、心に深く刻まれているのではないのでしょうか。口ずさめば、その当時の思い出が一気によみがえり、仲良しの友の顔がその当時のまんま思い出されることでしょう。

少し前になりますが、歌手の財津和夫さんが、「校歌は体の一部、大切にしたい」というコラムを新聞に掲載していました。紹介します。

他の歌とは違い、校歌にはとても珍しい特徴があります。それは個人の好みや流行にかかわらず、「その学校に通っている」という理由で歌うことになるということです。校歌というのは、同じ時間や空間を共有した証しになります。子どもの頃は、歌詞の意味もよく理解できずに、大人に言われるがままに歌っていた人もいるかもしれません。しかし、何度も歌ううちに、歌詞とメロディーが一体となって体の中に入り込んできます。そういった意味で、校歌は体の一部になっているのです。歌は思い出と結びつく力を持っています。友達や勉強、中には叱られたことなども、学校生活の記憶として強く繋がります。そして、卒業式で歌う時には、「友達と別れるのだな」とか「この学校には、もう来ないのだな」とか、感慨深く、しみじみとしたものとなり、校歌はその人にとって格別に大切な歌になるのです。

(R5. 9. 23 日本教育新聞掲載より)

本校を巣立つ5名の6年生のみなさんにとって、卒業式で歌う最後の校歌となります。150年を超える歴史の中で、2,500名近くの先輩方もが歌ってきた校歌です。

これからもずっと、この校歌、この学校を愛し、大切にしたいと思えます。

3月の行事予定

2	月	さわコミ挨拶運動 交通指導日 委員会活動(最終) ※以降体育館開放停止
3	火	特別日課 13:25下校 第3回登校班会議 スクールカウンセラー来校
4	水	おはなしホンポ(最終) 卒業式練習開始 特別日課 13:25下校
5	木	特別日課 13:25下校
6	金	特別日課 13:25下校 下校指導
10	火	安全点検日 ICT支援員来校
12	金	卒業式予行
17	月	卒業式前日準備 6年 13:00下校 1~5年 14:30下校
18	火	卒業式 6年 11:10下校 1~5年 11:40下校
19	水	給食終了 13:00下校
20	木	春分の日
23	月	大掃除・特別教室掃除 特別日課 11:35下校
24	火	令和7年度修了式 離任式 通知表配付 特別日課 11:35下校
25	火	学年末休業(～4月6日)

4月の主な行事(変更する場合があります)

7	火	着任式 令和8年度始業式 11:35下校
8	水	入学式前日準備 11:35下校
9	木	入学式 11:35下校
10	金	さわコミ挨拶運動 交通指導日 13:00下校 給食開始
13	月	身体測定 登校班会議 委員会活動
14	火	PTA新旧評議員会議 本部打合せ
15	水	陸上練習開始
16	水	おはなしホンポ(低中高)
17	木	全国学力学習状況調査(6年) 学力検査(2~5年) 防災訓練
20	月	小児生活病予防検診・心電図
21	火	なかよし班打ち合わせ
24	金	授業参観 学校経営説明会 保護者会
27	月	クリーンデイ 地域訪問① 13:25下校
28	火	地域訪問② 13:25下校
29	水	昭和の日
30	水	地域訪問③ 13:25下校 特別教室掃除



修了式・離任式について 3月24日(火)

8:00 登校
8:10~8:55 1校時
9:05~9:50 2校時(学活)
10:00 体育館に全校児童集合完了
10:00~10:25 3校時 修了式
10:25~10:45 4校時離任式(卒業生集合完了)
10:55~11:10 机・いすの移動
下校11:35

4/7(火)の連絡

・昇降口から体育館へ
(教室には行かない)

・くつ箱は進級学年へ

～持ち物の確認～

上履き, 筆記用具, 連絡帳,
雑巾2枚 ※詳細は各学年だより
(3月号)をご参照ください。

・下校 11:35